



関東支部 第126回(2011年度)研究大会・総会のご案内

大会テーマ **外国語の何をどのように教えるか**

—フォーカス・オン・フォームを取り入れた英語教育—

会員・関係者各位

東北・関東地方を襲った東日本大震災の犠牲となった方々にお悔やみを申し上げます。また、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の1日も早い復興を心よりお祈りいたします。

2011年度は、このような未曾有の災害による混乱の中に始まりましたが、英語教育にとっても画期的な1年になります。小学校に英語活動が導入され、校種を超えた総体としての英語教育が試されることとなったのです。

これを機会に、今回の研究大会では、英語教育の変遷をたどりながら、その理論と実践を検証しつつ、フォーカス・オン・フォームを大会テーマに入れました。

もとより100有余年の歴史を持つ、日本の英語教育をたどるには、1日は短すぎますが、実は優れた成果をあげてきた日本の英語教育について、より多くの方々との意見交換を行い、新たな展望を開きたいと思っています。非会員の方々もお誘いの上、皆様、どうぞご来場ください。

研究大会でお元気な皆さんとお会いできますことを楽しみにしています。

2011年5月

外国語教育メディア学会

関東支部長 森田 彰

記

主催 外国語教育メディア学会(LET)関東支部
期日 2011年6月11日(土曜日)
会場 学習院女子大学 戸山キャンパス
(〒162-8650 東京都新宿区高戸山3-20-1)
東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車、徒歩1分
東京メトロ東西線「早稲田」駅下車、徒歩10分
JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅下車、徒歩15分
<http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/>

外国語教育メディア学会関東支部事務局

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

東京慈恵会医科大学 国領校教員控室内

電話&ファックス: 03-3436-9590

E-mail: kanto-office@j-let.org

時 程

※教室は変更する可能性があります。当日の要項冊子・掲示でご確認ください。

9:30 ~ 受付

2号館3階

入校には手続きが必要です

10:00 ~ 11:05

研究発表・実践報告

2号館4階

第1会場	245*	司会	神田 明延	(首都大学東京)
第2会場	246*	司会	土屋 武久	(武蔵大学)
第3会場	247	司会	香取 久子	(東京電機大学)

-- 10:00 ~ 10:30 -----

教室* 種別 * 教室は当日の要項冊子・掲示でご確認ください

245-研究発表 「英語シャドーイング評価の試み: 全体的印象評価と観点別評価の関係」

山内 豊 (東京国際大学)

峯松 信明 (東京大学)

羅 徳安 (中国科学院)

川村 明美 (東京国際大学)

西川 恵 (東海大学)

246-実践報告 「1000語英語レポート・ライティングを支援する授業活動」

関田 信生 (東海大学教育開発研究所)

高倉 利一郎 (東海大学教育開発研究所)

247-実践報告 「英語専攻女子学生が好んだCALL教材とその開発方法」

下島 義容 (拓殖大学)

南 紀子 (創価女子短期大学)

-- 10:35 ~ 11:05 -----

245-研究発表 「日本語における音の継続時間と分節化
—母語の分節化方略が第二言語習得に与える影響の解明に向けて—」

田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

246-実践報告 「教育工学系の領域を対象とした
英語論文読解支援モバイルシステムの開発」

舟生 日出男 (広島大学)

吉野 志保 (桜美林大学)

狩野 紀子 (拓殖大学)

247-実践報告 「地域企業のニーズに基づく
工科系大学の英語教育プログラム開発のための基礎的研究」

飛田 ルミ (足利工業大学)

11:15 ~ 12:30

講演

2号館3階236*

「世界の外国語教育の変遷:フォーカス・オン・フォームへのシフト」

本講演では、世界の外国語教育の変遷を巨視的な目で捉えて、その中でこれから日本の英語教育が進むべき道について話していきたい。特に、形式中心の伝統的教授法から、意味中心のコミュニカティブ教授法に移っていった流れ。そして現在、そこから第3の選択である「フォーカス・オン・フォーム」と呼ばれる、形式と意味のつながりを教えようとする英語教育に重点が移っている点について話を進めていく。その上で、これからの日本の英語教育における課題について話していきたい。

講師紹介	入江 潤	(<small>みょうじょう</small> 明星学園小学校)
講師	和泉 伸一	(上智大学)

12:30 ~ 14:00

ランチパーティー

互敬会館(3号館)2階教職員ホール

司会 飛田 ルミ (足利工業大学)

本大会では閉会後の懇親会は開催せず、昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。また、賛助会員の皆様に、展示商品についてご紹介戴きます。参加される方は、当日受付にて1,000円をお支払いください。昼食については、4ページ末の【お願いとご案内】もご参照ください。

賛助会員展示

2号館3階234*・235*

2号館3階234*室・235*室では、ブースを設けて、賛助会員による展示行っております。

14:00 ~ 14:30

総会

2号館3階236*

総合司会	萱 忠 義	(学習院女子大学)
LET 関東支部長挨拶	森 田 彰	(早稲田大学)

14:30 ~ 15:45

講演

2号館3階236*

「フォーカス・オン・フォームの授業で自律的学習者を育てる」

今、現場で行われている、教科書を bottom-up 式で教え、教えた範囲までを言語の知識・理解中心(暗記型)のテストで評価をするという授業では、自律的学習者を育てることは難しい。「フォーカス・オン・フォーム」の授業で不可欠なのは、学習者に「考えさせ、気づかせる」ということだろう。当日は、映像をいくつか紹介しながら、「フォーカス・オン・フォーム」の授業デザイン(単元の全体構想)だけでなく、基本文導入のあり方、言語活動、発問や評価のあり方などについても問題提起をさせていただく予定である。

講師紹介	奥 聡 一 郎	(関東学院大学)
講師	中 嶋 洋 一	(関西外国語大学)

16:00 ~ 17:20

対 談

2号館3階236*

「外国語の何をどのように教えるか
—フォーカス・オン・フォームを取り入れた英語教育—」

第二言語習得(SLA)の研究は、外国語学習のメカニズムを科学的に明らかにする。その知見は、高い教育効果を生み出す指導内容や方法について示唆を与えてくれるものである。それは、栄養の知識とレシピの関係に似ているかもしれない。

この対談では、講演後にフロアから寄せられた質問紙に答える形で、授業でよい結果を出すにはどのような工夫がありうるかという観点で、フロアとのやりとりを交えながら対談をすすめたい。

司 会	跡 部 智	(関東学院大学)
対 談 者	和 泉 伸一	(上智大学)
	中 嶋 洋一	(関西外国語大学)

17:20 ~ 17:30

閉会の挨拶

2号館3階236*

LET 関東支部副支部長 下 山 幸 成 (東洋学園大学)

参加者へのお願いとご案内

- 1) 参加費について
 - < 会 員 > 参加費は無料です。
2011年度の年会費が未納の方は受付で納入してください。
(7,000円/学生4,000円)
 - < 団体会員 > 一団体につき1名が無料で参加できます。
2人目からは1,000円をお支払いください。
 - < 非 会 員 > 資料代として1,000円をお支払いください。学生も同額です。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 駐車場はございません。車でのご来場はご遠慮ください。
- 4) 昼食について
大学付近は昼食を取れる場所がそれほど多くありません。また、一度校外に出ますと再度入校手続きが必要となります。校内では、学食(3号館)のご利用も可能ですが、昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。閉会後の懇親会は行いませんので、ランチパーティーへのご参加もぜひご検討ください(参加される方は受付で1,000円をお支払いください)。